

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 29日

和歌山県知事 殿

提出者

住 所 和歌山県紀の川市貴志川町北山5-1-3

氏 名 株式会社 山 東 組

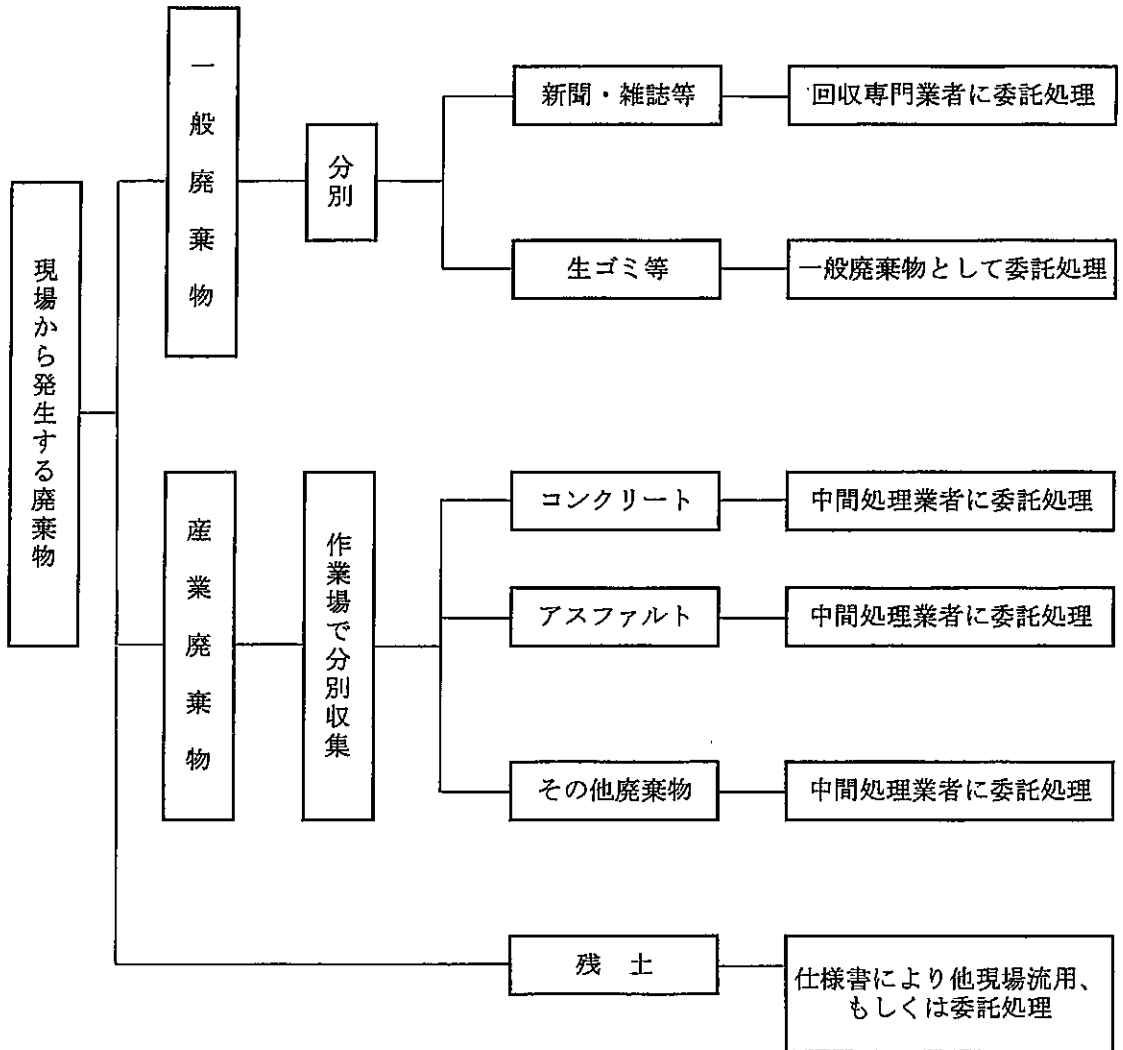
代表取締役 山 東 寛文

電話番号 0736-64-3211

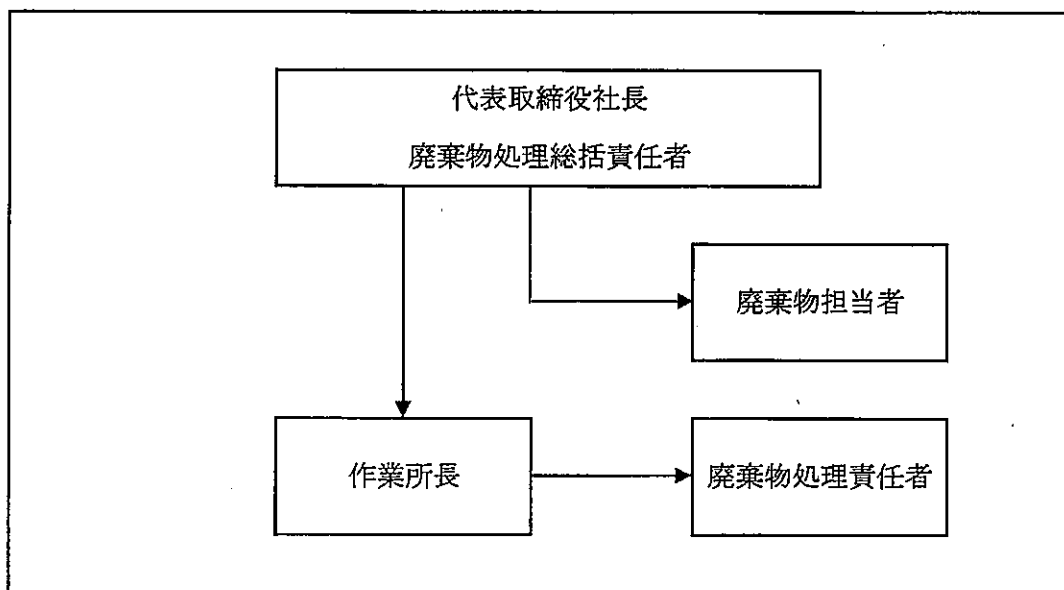
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山 東 組
事業場の所在地	和歌山県紀の川市貴志川町北山513
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 452,784千円
③ 従業員数	14名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

④産業廃棄物の一連の処理の工程



総括責任者		代表取締役 山東 寛文	
廃棄物担当		工務部 担当者	
役割	廃棄物処理 総括責任者	1. 作業所の廃棄物処理責任者、協力業者の教育指導	
		2. 産業廃棄物処理業者の選定確認	
		3. 産業廃棄物処理委託契約の締結	
		4. 処理実績の集計・報告及び記録の保存	
		5. 年度計画の策定及び計画書の作成	
		6. 社員、協力業者及び処理業者の教育、啓発	
	割	廃棄物処理 責任者	1. 廃棄物処理計画書の作成
			2. 処理状況の管理
			3. 建設廃棄物処理実績報告の作成及び報告
			4. 委託業者の許可証、事業範囲、処分場所等その内容確認
			5. 社員、協力業者及び処理業者の教育、啓発



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事の受注によって排出量が左右されるので把握は困難である。発生量の抑制のため、資材発注は実寸発注とし、余剰材・梱包材等の引取依頼を可能な限り行っている。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在施工中の解体工事により、通年より多量の産業廃棄物が排出される予定であるので、これまで実施した取組を継続し、発生を抑制できる工法等の検討を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類はコンクリート塊・アスファルトコンクリート塊に分別し木くず・廃プラスチック類・ガラスくず・金属くず・紙くず・ゴムくずの別に分別している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の維持。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理・再生利用は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理・再生利用は行わない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 元 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 再生利用に努め再資源化を進める処理業者と適正な委託契約を締結する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状維持に努める。		
※事務処理欄			

